

# アルファV工法

## アルファテック 540 (AT540)

【NETIS 登録 NO. KT-040020-A】

アルファV工法は、コンクリート構造物からの変状劣化によるコンクリート片の剥落を防止する工法です。変位追従性が高く、耐アルカリ性のビニロン化学繊維を使用し、かつエポキシ樹脂と組み合わせることによって、FRPの耐久性を大幅に向上させました。

また、プライマーとしてひびわれに浸透するエポキシ樹脂を用いているため、躯体の微細なひびわれ補修が塗布だけで可能となり、躯体自体の耐久性の向上が期待できる工法です。

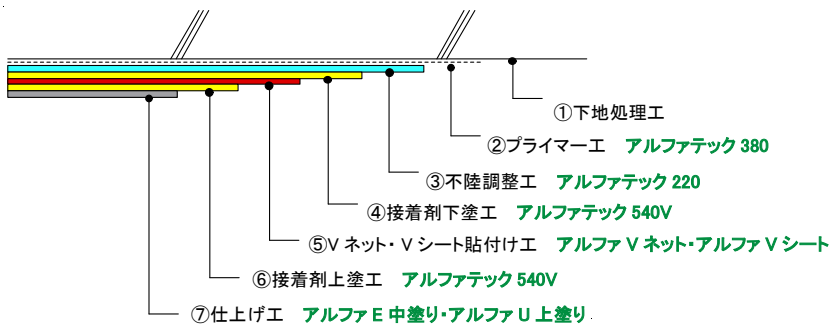
### 用途

- コンクリート構造物のコンクリート片はく落防止

### 特徴

|                  |  |
|------------------|--|
| 優れた耐久性           | 高性能なビニロン繊維シートを使用することで、耐アルカリ性をはじめとした耐久性能に優れたはく落防止対策です。        |
| 高い変形追従性          | 高い強度と靱性に富むFRPがコンクリート構造物に一体化するため、変形追従性に優れています。                |
| 高湿度下でも施工可能       | プライマーから接着剤まで全て湿潤面対応型の材料なため、高湿度の環境でも施工可能です。                   |
| プライマーによるひび割れ補修効果 | プライマーにひびわれ浸透性能を持たせることにより、微細なクラックを補修することで、コンクリート構造物の耐久性を高めます。 |

### 施工断面



### 使用機材

- ディスクサンダー
- ブラスト機
- ウォータージェット機
- 樹脂ミキサー
- ローラー、ハケ、ゴムベラ
- トレー

### 施工手順

|                  |   |
|------------------|---|
| ①下地処理工           | ウォータージェット、ブラスト、ディスクサンダー等を用いてコンクリート表面の下地処理を行います。不陸、断面欠損部等は修復材を用いて平滑に仕上げます。                     |
| ②プライマー工          | アルファテック 380 を塗布します。ひびわれにプライマーが浸透し表面に窪みが生じた部分は追い塗りして、ひびわれ深部まで浸透接着させます。                         |
| ③不陸調整工           | 不陸がある場合は、アルファテック 220 をローラー、ハケ、コテ、などで均します。   |
| ④接着剤下塗り工         | アルファテック 540V を下塗りします。   |
| ⑤V ネット・V シート貼付け工 | ビニロン繊維を貼付けます。平滑面には軽く腰のあるアルファV ネット(ビニロン三軸ネット)を使用し、入隅、出隅等複雑な形状部には柔軟なアルファV シート(ビニロン二軸シート)を適用します。 |
| ⑥接着剤上塗り工         | アルファテック 540V を上塗りします  |
| ⑦仕上げ工            | 耐候塗装が必要な場合はアルファE 中塗(エポキシ系塗料)、アルファU 上塗(ウレタン系塗料)を塗布します。   |



下地処理工 (①)



プライマー工 (②)



不陸調整工 (③)



接着剤下塗り工 (④)



ビニロン貼付け工 (⑤)



接着剤上塗り工 (⑥)



仕上げ工 (⑦)